

堺市教組・田中さんお帰りなさい

7月3日

4日目は、和泉市役所から堺市役所までの平和行進が行われ、雨の中約 300 名以上が参加しました。

◆和泉市役所～泉大津市役所～高石市役所～堺市役所コース(7/3)

2014 年国民平和行進・東京～広島

大阪幹線コース第4日目の7月3日は、和泉市役所から堺市役所までの平和行進が行われ、雨の中約 300 名以上が参加しました。雨の最大のピークが浜寺公園から堺市役所までの期間でしたが、参加者は、雨の中「核兵器なくそう」「集団的自衛権行使反対」のシュプレヒコールが続けられました。



平和行進の隊

列で一番目を引いたのが地元、耳原病院職員のお揃いの青や黄色のTシャツ(大阪民主医療機関労働組合協議会、略称「大阪民医労」の作成)でした。終結集会や歓迎集会で大きな拍手で迎えられたのは、地元・堺市教組、堺平和市委員会事務局長の田中 薫さんでした。「田中さん、堺にお帰りなさい」の声がたくさん呼び

掛けられました。

挨拶に立った田中さんは、「東京・夢の島を立って 59 日目でようやく、堺に帰ってこれることができました。目標が堺に戻ってくることでしたので、ここに立つことが大きな自信になっています。ここに立てるのも一緒に歩いてくれる竹田さんや五十嵐さんの大きな力があるからです。目標の『もうちょっと賢くなって堺に帰って、その分を堺にお返しする』が実現しそうなので広島まで自信を持って行ってきます」の 59 日を振り返っての挨拶に、参加者から歓声と大きな拍手が送られました。



堺市役所前での終結集会で挨拶に立った青山一見(JMIU)さんは、「今年、大阪高裁の不当判決に大きなショックを。下を向いている時間はありません。最高裁判所に控訴しており、これからが正念場です。私たちのダイキン工業との解雇撤回闘争をみなさんにご支援していただくために国民平和行進に参加しています。この闘い前には何も知りませんでしたが、今多くを知ることができました」の声に大きな声援が送られました。

(2014 年国民平和行進「大阪実行委員会ニュース」No.7 7/4 より)